Creative Enzymes®

プレピリンペプチダーゼ

Cat. No. EXWM-4280

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	多くの細菌種は、細胞表面にピリを持っています。これらは病原性株における病原性決定因子であり、タイプIVプレピリンサブユニットから生合成されます。組み立ての前に、プレピリン分子はプロテオリティック処理を必要とし、これはプレピリンペプチダーゼによって行われます。プレピリンペプチダーゼとそのホモログは、タイプIVピリウスの生合成だけでなく、細胞膜を越えた高分子の輸送にも中心的な役割を果たします。ペプチド結合の加水分解とN-メチル化は同じ分子によって触媒されますが、メチル化はペプチダーゼ活性に影響を与えずに抑制することができ、酵素には2つの別々の触媒部位があると考えられています。ペプチダーゼファミリーA24のタイプ例。

製品情報

形態	液体または凍結乾燥粉末
EC番号	EC 3.4.23.43
CAS登□番号	202833-59-8
反□	通常、タイプIVプレピリンから5-8残基のN末端の塩基性ペプチドを放出するために、-Gly┼Phe-結合を切断し、その後、新しいN末端アミノ基をN-メチル化します。メチル供与体はS-アデノシル-L-メチオニンです。
備考	このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5□9週間です。ご要望に□じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法	短期間は +4 ℃ で保管してください。長期間保管する場合は -20 ℃~-80 ℃ で保管してください。